

静岡県東部地域企業経営動向調査

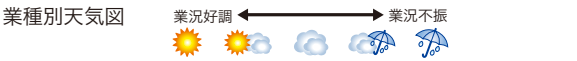
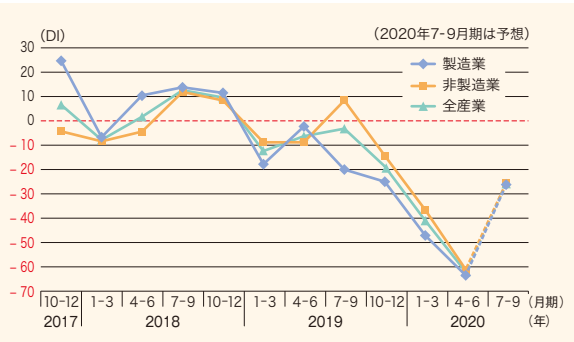
(2020年4-6月期実績、2020年7-9月期見通し)

① 業況概要(自社)

全産業DIは、リーマンショック後の最低値に並ぶ低い水準

静岡県東部地域における2020年4-6月期の業況判断DI(全産業:前期比)は、3期連続で大幅に低下し、景況感の悪化がさらに進んだ(前期-41.0→今期-62.1:以下同様)。この値は、リーマンショック発生後景況感が最も悪化した-62.4(2009年1-3月期、ただし前年同期比でのDI)と並ぶ低い水準となっている。業種別でも、製造業は-63.5、非製造業は-61.1で、ともに-60を下回る低い水準となっている。

2020年7-9月期の予想DI(今期比)は、製造業(-26.2)、非製造業(-25.6)、全産業(-25.8)と、今期比では上昇に転じる見通しであるが、いずれも-20以下の水準にとどまっている。



	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス	旅館・その他宿泊所	建設
2020年1-3月期	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☀️☔
2020年4-6月期	☔	☔☁️	☔	☔	☔	☔	☔	☔☔
2020年7-9月期	☔☔	☔	☔☁️	☔	☔☔	☔☔	☔☁️	☔☔

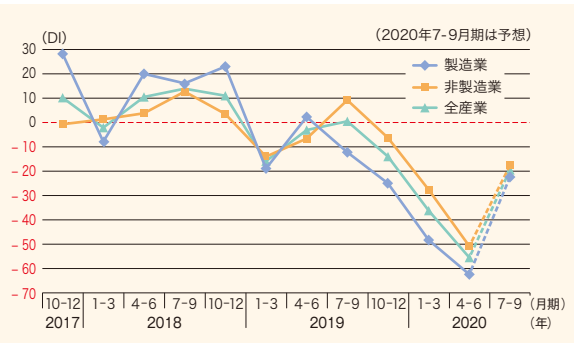
(2020年1-3月期、4-6月期は前期比。2020年7-9月期は今期比予想)

② 売上動向

製造業、非製造業ともDIの低下が続き、来期も「減少」水準

2020年4-6月期の売上動向DI(全産業:前期比)は-55.5と3期連続で低下となっている。業種別にみると、製造業では金属製品、その他製造業、パルプ・紙・紙加工品などいずれも-40以下の水準にあり、全体でも-62.4となった。また、非製造業では卸・小売・サービス(-64.4)、建設(-27.8)とも低下している。

2020年7-9月期の予想DI(今期比)は、製造業(-22.4)、非製造業(-17.6)、全体(-19.5)と今期より大幅に上昇するものの、いずれも-20前後にとどまり、「減少」水準が続く見込みである。

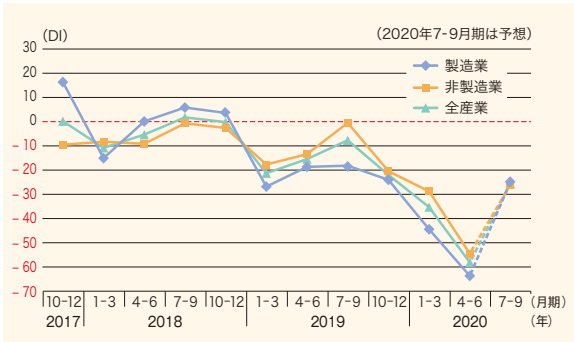


③ 利益動向

製造業、非製造業ともDIの低下が続く

2020年4-6月期の利益動向DI(全産業:前期比)は-57.8となり、業況判断、利益動向DIと同じく、大幅な低下となっている。業種別にみると、製造業では金属製品、一般機械器具、パルプ・紙・紙加工品などが-60以下の低い水準となり、製造業全体でも-63.5と3期連続で低下が続いている。一方、非製造業でも卸・小売・サービス、建設とも前期比で低下している。

2020年7-9月期の予想DI(今期比)は、製造業(-23.5)、非製造業(-24.8)とも上昇し、全産業では-24.3となっているが、いずれも-20を下回り、「減少」水準が続く見込みとなっている。



④ 経営上の問題点

「受注・売上の停滞・減少」の回答割合が全体の約3分の2に

「受注・売上の停滞・減少」の回答割合が51.9%→64.9%と前期比10ポイント以上上昇し、全体の約3分の2に達している。一方で、「人材の育成」、「従業員の高齢化」、「求人難」、「人件費の増加」の割合は前期比低下しており、特に「求人難」は前期比約15ポイント、「従業員の高齢化」、「人件費の増加」は同約6ポイントの低下となった。

	2019年10-12月期		2020年1-3月期		2020年4-6月期		順位変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1. 受注・売上の停滞・減少	100	47.4%	109	51.9%	137	64.9%	→
2. 人材の育成	100	47.4%	86	41.0%	82	38.9%	→
3. 従業員の高齢化	71	33.6%	72	34.3%	59	28.0%	→
4. 求人難	76	36.0%	71	33.8%	39	18.5%	→
4. 人件費の増加	55	26.1%	52	24.8%	39	18.5%	↑
4. 過当競争・製品安	32	15.2%	31	14.8%	39	18.5%	↑
7. その他経費の増加	36	17.1%	36	17.1%	36	17.1%	↑
8. 生産・販売能力の不足	35	16.6%	42	20.0%	34	16.1%	↓
		(回答企業211社)			(回答企業210社)		(回答企業211社)

調査の概要	
1. 調査目的	静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業	静岡県東部地域に立地する企業443社 回答企業数211社(回答率47.6%)
3. 調査方法	当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間	実績:2020年4-6月期 見通し:2020年7-9月期
5. 調査時点	2020年5-6月

※本年5月に、新型コロナウィルス感染拡大の影響と対応について【特別調査】を実施しました。調査結果は弊所ウェブサイト <http://www.srgi.or.jp> 中に公表しています。

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。
「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標。